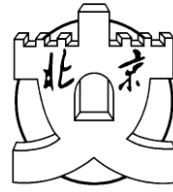


かささぎ



北京日本人学校
学校通信 第4号
令和2年7月25日
校長 栗本 和明

学校再開がかなわないまま、令和2年度1学期が終わります。保護者の皆様の日々のお声かけのおかげで、子どもたちは家庭での学習を継続することができています。ありがとうございます。

本校教職員は「子どもの学びをとめるな」を合い言葉に、本日に到っています。春節休み明け以降、はや半年。あまりに予測不能な状況変化に、心身共にダメージを受け「子どもの学びをとめるな」の言葉を、時には「呪文のように…」唱える先生もいました。小4以上の子どもたちが登校できた日々や、画面越しの子どもたちの姿にエネルギーをもらい何とか授業を続けられた、というのが正直な実感です。今後、登校再開に向け、北京市や朝陽区教育委員会の指示に従い着実に進めていけるよう、しっかりと準備をしたいと思えます。どうぞよろしくお願ひします。

以下、学校に関するトピックをいくつか。

1 図書室での発見

子どもたちの姿が見えない学校はとても寂しいです。でも、こんな機会だからこそ、と空いている時間を活用して係の先生たちが図書室整備をしています。カウンターの後ろをふと見ると…、末次由紀さんのサインが。直筆と思われる「北京日本人学校の皆さんへ！」「かるたがんばってね！」の文字と、主人公の綾瀬千早、部活仲間の「肉まん君」のイラストも。末次さんは、競技カルタに情熱を燃やす高校生の物語「ちはやふる」の作者。アニメになり、広瀬すずさん主演で映画にもなり、子どもたちにも人気がある作品です。



思わず書架の「ちはやふる」をパラパラと見ていたら、8巻の裏表紙に「寄贈 筑波大学歌留多部」の文字を発見しました（左写真青丸）。末次由紀さんはいったいなぜ北京日本人学校にサインをくださったのか？ いつくださったのか？ 北京日本人学校と末次由紀さんとのつながりは？ という疑問が。また、筑波大学の歌留多部はどうして本校に本を寄贈してくださったのだろうか？ という疑問も。どなたかご存じの方はいらっしゃいますか？

2 将台郷の郷長さんとの会見

学校周辺の工事のことで、インディゴの近くにある将台郷の役所に行く機会がありました。郷長さんとお会いすることができました。「今後も違法駐車車両の取り締まり強化を続けること」や「きれいになった歩道をしっかり維持管理すること」などを約束してくださいました。



8月18日からのオンラインでの授業開始を目標に準備を進めていますが、北京市や朝陽区教育委員会からは「状況に応じて対応するので決定ではない」「学年ごとの段階的再開も視野に、学校での授業とネットによるオンライン授業の両方の準備を進めるように」という指示があります。今後の動向について、素早い発信を心がけます。これからもご家庭での柔軟な対応をお願いいたします。皆様、充実した夏休みをお過ごしください。

校長 栗本 和明

3年生のニュース

小学部3年生

3年生の社会科では、お菓子工場の仕事の工夫について調べました。社会科の学習では『身近なことから「? (はてな)」を見つけよう』をテーマにして、「工場の仕事」について様々な疑問を見つけたり、お菓子工場でのお菓子の作り方を調べたりしながら学習を進めました。「工場の人はどうして白い服を着ているんだろう。」「お菓子の原料はどこから来るんだろう。」などの疑問を資料で調べました。

また、福岡県の製菓工場に子どもたちの疑問について質問をしました。工場での衛生管理や原料について、実際に工場働く人だからこそ分かるお菓子作りの工夫を教えてくださいました。協力してくださった工場働く皆さんに感謝の気持ちを込めてお手紙を書きました。

そして、調べたことについて新聞にまとめました。社会科の学習で初めて作る新聞でしたが、どの子も見やすさや引用する資料の効果的な示し方を考えながら、上手に新聞に表現しました。新聞発表の時には、新聞を示しながら、声の大きさや間の取り方など話し方に気を付けて発表することができました。



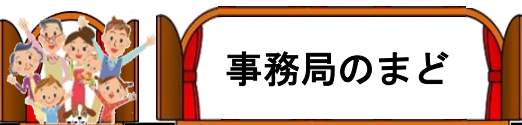
たぐいま 何人?

小学部 令和2年7月25日現在

	男子	女子	合計		男子	女子	合計
1年	6	8	14	4年	11	19	30
2年	20	20	40	5年	10	8	18
3年	16	10	26	6年	18	16	34
				小総計	81	81	162

中学部

1年	7	10	17	中総計	27	27	54
2年	13	9	22	総合計	108	108	216
3年	7	8	15				



事務局のまど

最近、麗都花園路（リドから将台西路 T 字路）の歩道が整備され、緑も多く、散歩するのに素敵だなという環境になりました。在日本、在北京にかかわらず、皆さん学校へ来られる機会が減っていらっしゃると思いますので、写真でお知らせします。



また学校周辺に限らず、毎朝ジョギングやウォーキングしている方を見かけることが以前より増えたように思います。このコロナショックで「健康第一、運動して免疫力をつけなければ」ということなのでしょう。まだまだ移動は自由ではありませんが、夏休みがやってきます。子どもさんもそうですが、保護者の皆様も身体を動かす機会が多くあると良いですね。

(事務局長 倉片)

【お知らせ】

佐藤舞子スクールカウンセラーを主講師とするメンタルヘルス Web セミナー「コロナショックを乗り越える心の整え方—レジリエンス—」(中国日本商会, 北京日本倶楽部, 北京日本人学校共催) を7月28日(火) 午後開催します。申込方法等は学校 HP をご覧ください。